

エクスロン・インターナショナル親会社

電子線アトリエ開設

新事業部門の国内拠点に

エクスロン・インターナショナル(本社11独)の親会社であるコメットグループ内で、電子線技術による表面処理などを手掛ける事業部門イービーム・テクノロジーズは

2月9日、日本拠点となるアトリエ(アトリエ)を、横浜市神奈川区のエクスロン・インターナショナル(国内オフィス)との共有スペースに開所した。

同日に行われた開所式では、エクスロン本社プレゼンターのデトレフ・シュテック氏、エクスロン・インターナショナル(国内)の中條峰人社長、イービーム・テクノロジーズプレゼンターのチャールズ・フルキガー氏が出席。そのほか、関係企業なども招き、新たな門出を祝った。

イービーム・テクノロジーズの一事業部門として昨年独立。電子線技術を基軸に、各種材料の表面処理や、食品の殺菌など、30以上の応用部門による幅広い事業を展開する。電子線を用いた技術では、対象の分子構造を切断し、表面改質などを行うことで、対象の耐久性を向上させるなどの様々な効果が得られる。

日本拠点となるアトリエには、同技術を用いた装置「EBLab」などを設置。今後、ユーザーからの様々なニーズに対応する。

フルキガー氏は同アトリエの開所にあたり「日本での展開に非常に大きな期待をしている。エクスロングループとの連携に際しても、欧州では既に実績があり、お互いに影響を与え合いながらユーザーにソリューションを提供したいと考えている」と語った。

隣接するスペースには、従来から、エクスロン・インターナショナルの主要X線・CT装置を設置したデモルームが設けられているほか、同社国内オフィスについても、イービーム・テクノロジーズのアトリエ開所にあたり事務所などをリニューアル。サービスの可視化をテーマに、各エリアを刷新した。

中條社長は、イービーム・テクノロジーズとの連携について「両事業の境目をなくすことで、ユーザーに対してトータル的な提案が可能になった。今後、単一のアプリケーションではなく、技術を融合した新たなサポートを実現するきっかけになると考えている」と語った。

(左から)中條社長とフルキガー、シュテック氏



イービーム・テクノロジーズのデモルーム



イービーム・テクノロジーズの一事業部門として昨年独立。電子線技術を基軸に、各種材料の表面処理や、食品の殺菌など、30以上の応用部門による幅広い事業を展開する。電子線を用いた技術では、対象の分子構造を切断し、表面改質などを行うことで、対象の耐久性を向上させるなどの様々な効果が得られる。

日本拠点となるアトリエには、同技術を用いた装置「EBLab」などを設置。今後、ユーザーからの様々なニーズに対応する。

フルキガー氏は同アトリエの開所にあたり「日本での展開に非常に大きな期待をしている。エクスロングループとの連携に際しても、欧州では既に実績があり、お互いに影響を与え合いながらユーザーにソリューションを提供したいと考えている」と語った。

隣接するスペースには、従来から、エクスロン・インターナショナルの主要X線・CT装置を設置したデモルームが設けられているほか、同社国内オフィスについても、イービーム・テクノロジーズのアトリエ開所にあたり事務所などをリニューアル。サービスの可視化をテーマに、各エリアを刷新した。

中條社長は、イービーム・テクノロジーズとの連携について「両事業の境目をなくすことで、ユーザーに対してトータル的な提案が可能になった。今後、単一のアプリケーションではなく、技術を融合した新たなサポートを実現するきっかけになると考えている」と語った。

また「表面処理は材料分野とも関連があり、検査などを行う当社のユーザーとも重なる可能性がある。ビヨンド・ザ・テクノロジーをテーマに、それぞれの技術の先にあるものを見据えたアプローチを展開したい」と今後に意欲をみせた(6面に関連記事)